令和		7	7 年	年度		事務事業一覧表(ンート作成分を除く)			担当課	当課 健康長寿課		担当G	健康増進グループ	作成日 令和 7	年 7 月 1	<mark>1</mark> 日作成
振興計画			<u>_</u>			事業名	事業目的	事業内容			年度 事業費(千円)			ch+6.15.20	48	-m ex	今後の
		四1本:	糸	総合戦制	略体糸				国県支出金	その他 特定財源	一般財源 (志基金含む)	合計	前年度比	実施状況	成果	課題	方向性
4	l 1	1 2	2	4			に付け、食生活の改善が行	域活動(調理講習会等)に対		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	300	300	0	自主活動として、地域の小集団で食生活改善の普及活動をしている。また、資質向上のため研修会や調理実習などは積極的に行われている。		食と健康のサポーター活動 を理解し、目指す人が少ない ため、人員の確保が難しい。	現状維持
4	1	1 2	2	4	7	M-101-1777		①健康づくり推進員養成 ②健康相談 ③訪問指導	98		274	372		①6人養成 ②75回 272人 ③55人	地域の身近な方が推進員 となり、活動していただくこと により、健康意識の向上につ ながっている。健康	健康づくり推進員がいない地 区がある。健康づくり推進員 の活動の場を検討する必要 がある。	現状維持
4	l 1	1 2	2	4	7		一人で悩まず相談することで解決への糸口を見出すことができる。また本人がSOSを発することができ、周囲もSOSに気づき関係者へつなぐことで誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す。	開催 ②自殺対策本部会議等の開催 ③ゲートキーパー養成講座の 開催	179		135	314		①2開催 ②1回開催 ③13回 615人 ④アクセス数 延6,055人 ⑤7回 23人	ゲートキーパー講座で、市内の2高校で実施するとともに、5つの企業でも実施することができた。	自殺死亡率は、県・国より高い傾向にある。関係機関と連携を図り、本市の実情を捉えながら事業を展開していく必要がある。 自殺対策計画に沿った事業に取り組むとともに、悩みを抱えた方が相談しやすい機会を作っていく。	
4	I 1	1 1	1	4				慣れた自宅で、最期まで自分ら	10		12	22	△ 410	福祉用具貸与費用助成 1人	若年の末期がん患者が住み 慣れた自宅で最期まで自分 らしく安心して日常生活が送 れるよう在宅における生活を 変援し、患者及びその家族 の負担の軽減を図ることがで きた。	比較的新しい事業のため、 事業の周知が必要である。	現状維持
4	1 1	1 1	1	4		スケア支援事業	又は乳房切除による精神的負担を軽減するために使用する	がん患者が手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛又は乳房切除に対して、医療用ウィッグ等及び乳房(胸部)補整具の購入費用の一部を助成する。	57		58	115	15	ウィッグ購入助成 4人 補整具購入費助成 6人	がん患者に対し、手術、放射線療法若しくは化学療法に伴う脱毛又は乳房切除による精神的負担を軽減するために使用する医療用ウィッグ等及び乳房(胸部)補整具の開入費用の一部を助成することにより、がん患者の経済的負担を軽減し、治療と就労等との両立等を支援できた。	比較的新しい事業のため、 事業の周知が必要である。	現状維持
4	l 1	1 3	3	4		医師確保に向けた 情報配信		小児科医師確保に向けた 補助金の内容等を配信する 業務を委託する。			209		209	度情報サイトで、小児科開	事業の周知を図り、補助対象事業者を、結果として決定することができた。		廃止終了